

きょうと



舞鶴市女性委員会の「花の寄せ植え教室」

2022年12月12日に舞鶴市勤労者福祉センターで開催した「花の寄せ植え教室」の様子です。講師の指導のもと、素敵な寄せ植え鉢が出来上がりました。施設訪問用の寄せ植えも参加者で協力して仕上げました。

午後には、舞鶴市老連役員が特別養護老人ホーム7か所と障がい者施設1か所を訪問し、出来た寄せ植えと、会員の皆さんに寄贈いただいたタオルを届けました。

施設の皆さんは、「お花は心が和みます」と喜んでくださいました。

府老連報告

府老連役員を選任

府老連は、5月17日に「第182回理事会」、5月31日に「第75回評議員会」を開催し、令和4年度事業報告及び収支決算報告を承認するとともに、役員の新補充選任を行いました。

また、3月の理事会では令和5年度の事業計画が承認され、11の重点事業に取り組みむこととなりました。

今回交替のあった役員の方々は次のとおりです。

定の定時評議員会まで

【退任された方々】

長い間お世話になりました。

●理事

中川 剛（事務局長）

●評議員

上崎 勝彦（向日市）

奥仲真智子（南山城村）

【訃報】

役員としてご活躍いただきました。心より哀悼の意を申し上げます。

●理事

大道 俊樹（綾部市）

●評議員

梅田 重子（京丹後市）

◆新市町村老連会長

飛鳥井佳子（向日市）

嶋田 邦雄（南山城村）

辻井 邦夫（綾部市）

●評議員

飛鳥井佳子（向日市）

仲北浦きよ子（南山城村）

小森 明美（京丹後市）

※任期はそれぞれ残任期間である令和6年5月開催予



事務局長の就任・退任のお知らせ



新事務局長
田中美奈子

4月から事務局長に就任しました田中美奈子です。役員皆さま、会員の皆さまのご協力を賜りながら、一人ひとりの生きがいと健康長寿を目指して、一層の老人クラブ活動の活性化に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。



前事務局長
中川 剛

本年3月末日をもって府老連事務局長を退任いたしました。平成29年4月の就任以来、6年間にわたりご厚情を賜り、心より感謝申し上げます。

在任中は、29年秋に京都で開催されました「全国老人クラブ大会」、5力年にわたる「一万人会員増強運動」、女性・若手委員会の研修会など、会員皆様のご協力の下に取り組みむことができました。

この間、私自身も多くのことを学ばせていただきましたが、これからも微力ではありますが、府老連はじめ地元での活動に尽力してまいります。

末尾でございますが、京都府老連のますますの発展をお祈りして退任のごあいさついたします。

令和4年度 府老連収支決算書

(収入の部)

(支出の部)

単位：円

科目	決算額	附記
財産収益	509	利息
分担金	5,091,500	補助クラブ 909クラブ 非補助クラブ 46クラブ
補助金等	14,165,000	京都府補助金
広告料	60,000	機関紙広告
雑収入	85,105	図書斡旋手数料 会員章販売 他
収入計④	19,402,114	

科目	会計区分	決算額	附記
事業費	事業会計	16,066,699	老人クラブ大会、健康づくり、相互支援 リーダー研修、広報一般活動、職員給与
	組織強化	521,580	会員増強運動
管理費	法人会計	4,267,510	役員会議費、事務局運営費、光熱水費 他
支出計⑤		20,855,789	

(収支差額)

当期収支差額		△ 1,453,675	収入④－支出⑤
正味財産期末残高		33,303,223	前年度繰越金 34,826,898 + (当期差額 △ 1,453,675 - 法人税 70,000)
正味財産増加額		△ 1,523,675	期末残高－前年度繰越金



府老連 報告

I メインテーマ

令和5年度
事業計画

のばそう！健康寿命、 担おう！地域づくりを

- 〈健康寿命〉 ○健康寿命を伸ばし、自立した生活、生きがいのある生活の実現を目指します。
○仲間や地域の高齢者とともに継続的な健康活動に取り組みます。
- 〈地域づくり〉 ○他世代や関係団体と連携し、安全・安心の住みよい地域づくりを目指します。
○元気高齢者の知識・経験・活力を生かす場づくり・機会づくりを広げます。



山城ブロック ゲートボール大会

また、介護保険制度における「新地域支援事業」への参画など、行政や関係団体と連携・協力しながら、高齢者が安心して暮らせる地域づくりにむけて、社会的役割を果たしていくこととする。

特に、「人生100年時代」を迎える中、高齢者同士が共に支え合う「友愛活動」を一層推進するとともに、「仲間づくり」の輪を広げる「会員増強運動」を展開する。

II 基本方針

京都府老人クラブ連合会は、960クラブ、約43500会員を擁する高齢者を代表する組織として、一人ひとりの生きがいと健康長寿をめざして「健康・友愛・奉仕」の全国三大運動をはじめとする多彩な活動を推進する。

III 事業の重点

- ①全国三大運動である「健康・友愛・奉仕」の活動を基本として、引き続き「健康づくり・生きがいづくり・仲間づくり・地域づくり」の活動を積極的に推進する。
- ②「老人クラブ100000人会員増強運動」(平成26年度から5カ年)等の取組をおして会員増強の気運は盛り上がり、各地域では創意工夫ある取り組みが実施されてきた。
これからも、会員減少の大きな要因である単位老人クラブの解散・退会の防止に全力を挙げるとともに、趣味の会やサークル活動を核とした新しいクラブの立ち上げなど、引き続き府老連が一丸となって「会員増強運動」を展開することとする。
運動にあたっては、5カ年の総括で提起した「5つの実践目標」に努める。
③人生100年時代を見据えて「高齢者の最大の目標は健康！」を大きな柱に掲げ、会員や一般高齢者を対象に、健康づくりの輪をさらに広げていく。
このため、スポーツをはじめ、サロン等の介護予防活動を積極的に支援する。
- ④これからは疾病予防と併せて高齢者の生活機能の低下を防ぐ「フレイル(虚弱)予防」の活動に向けて、「体力測定」や「健康チェック」の普及など、高齢者が参加しやすいプログラムの充実を図る。
- ⑤高齢者の孤独死とともに、高齢者を狙った「特殊詐欺」等の高齢消費者被害を防止するため、市町村老連が行う友愛訪問の見守り・相互支援の活動を支援し、地域の「絆」を一層強めていく取り組みを促進する。
- ⑥府内のすべての市町村で実施されている「新地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)」に呼应し、老人クラブが



南丹市 八木老連
「友愛活動 お薬手帳入れ巾着袋づくり」

府老連報告



宮津市 城東菊寿会 「いきいき百歳体操」

これまで行ってきた友愛活動など、高齢者の暮らしを支える多様な生活支援、多様な通いの場づくりをすすめていく。

⑦女性委員会においては、女性リーダーの育成と市町村相互の交流を深めるため、「ブロック別女性リーダー研修会」を開催する。研修会をとおして、日頃の活動や会員増強の取り組みについて情報交換し、魅力ある活動と組織の強化を目指す。

また、女性委員会を中心に「いきいきクラブ体操」の普及を図る。

⑧若手委員会においては、若手リーダーの育成と会員同士の交流を深めるため、「若手リーダー

⑩仲間づくりの輪を広げるためには、多くの高齢者に老人クラブの活動を知ってもらう必要がある。

このため、府老連や市町村老連による機関紙等の発行をはじめ、市町村や社会福祉協議会等の広報媒体への情報提供やPRなど、わかりやすく親しみやすい広報活動を展開する。

⑪事業の展開にあたっては、府老連の役員が市町村老連に出向き、組織や活動の強化を支援するとともに、府老連と市町村間の交流をさらに進めるなど、一層の連携を図る。

研修会」を開催する。

また、「ボッチャ」等の新たなニュースポーツや健康マージャン、趣味の活動など、会員のニーズに対応した様々な活動について検討を進め、会員の加入促進に努める。

⑨世代間交流や子どもの見守り、子育て支援の活動など、「安心・安全のまちづくり活動」を社会福祉協議会や民生児童委員会等と連携・協働して推進する。

特に、市町村老連の発展には、行政当局の理解と支援が不可欠であることから、府や市町村において定期的な「行政懇談会」を実施する。

令和5年度 府老連収支予算書

単位：円

(収入の部)

科目	予算額	附記
財産収益	600	利息等
分担金	5,091,500	補助クラブ 909クラブ 非補助クラブ 46クラブ
補助金等	13,923,000	京都府補助金
広告料	100,000	機関紙広告
雑収入	90,100	会員章販売他
収入計 ^①	19,205,200	

(支出の部)

科目	会計区分	予算額	附記
事業費	事業会計	15,322,000	老人クラブ大会、健康づくり、相互支援 リーダー研修、広報一般活動、職員給与
	組織強化	608,000	会員増強運動
管理費	法人会計	3,247,000	役員会議費、事務局運営費、光熱水費 他
支出計 ^②		19,177,000	

(収支差額)

当期収支差額	28,200	収入 ^① －支出 ^②
正味財産期首残高	33,303,223	前年度からの繰越金

高齢者に人気の趣味

趣味を持つことにより、毎日の生活にも張り合いが生まれ、心身の健康と若さを保つ効果もあります。複数の趣味を持ち、人生を楽しく素晴らしいものにしていきましょう。



旅行

時間的余裕のできる高齢者の方に、圧倒的な人気のある趣味が旅行です。



ウォーキング・ジョギング

手軽にできる健康法として、年代を問わずに人気のある趣味です。



家庭菜園・ガーデニング

自然に触れて行うので癒し効果があり健康にも良い趣味として人気があります。



その他

音楽鑑賞、登山、温泉めぐり、楽器演奏、パソコン、囲碁・将棋などがあります。

府老連報告

令和5年度 主要事業日程

月	日	府老連関係	開催地	日	全老連関係	開催地
4	26日(水)	近畿老人クラブ連絡協議会(京都府)	京都市			
	28日(金)	女性・若手委員会総会	京都市			
5	11日(木)	監事会	京都市			
	17日(水)	第182回理事会	京都市			
	31日(水)	第75回評議員会	京都市			
6	22日(木)	市町村新会長・事務局長会議	京都市			
	29日(木)	近畿ブロック老人クラブリーダー研修会	兵庫県	19日(月)	評議員会	東京都
7	20日(木)	市町村老連リーダー研修会	京都市	26日(水)	全国事務局長会議	東京都
8		機関紙 第175号発行				
9	1日(金)	山城ブロック女性リーダー研修会	京田辺市			
	14日(木)	丹後ブロック女性リーダー研修会	三田方面			
	15日(金)	「老人の日」「老人週間～21日(木)」	全国一斉			
	20日(水)	全国一斉「社会奉仕の日」	全国一斉			
	28日(木)	丹波ブロック女性リーダー研修会	丹後方面			
10	11日(水)	第44回京都府老人クラブ大会	京都市	28日(土) ～31日(火)	第35回全国健康福祉祭えひめ大会	愛媛県
11	21日(火)	若手委員会リーダー研修会 「公式ワナゲ京都府大会」	八幡市	8日(水) ～9日(木)	第52回 全国老人クラブ 大会	秋田県
12	15日(金)	第183回理事会	京都市	4日(月) ～5日(火)	高齢者の健康づくり・生活支援セミナー	東京都
1						
2	15日(木)	機関紙 第176号発行				
	未定	市町村老連会長・事務局長会議 近畿老人クラブ連絡協議会	京都市 滋賀県	1日(木) ～2日(金)	全国会長等代表者会議	東京都
3	15日(金)	第184回理事会	京都市	12日(火)	評議員会	東京都

※令和6年度 近畿ブロック老人クラブリーダー研修会(京都府) 令和6年6月27日(木)
 第36回全国健康福祉祭とっとり大会(鳥取県) 令和6年10月19日(土)～22日(火)
 第53回全国老人クラブ大会(神奈川県・川崎市) 令和6年11月20日(水)～21日(木)



府老連報告

アフターコロナのクラブ活動とは

～成功事例を共有し新たな会員の確保を～

市町村別 クラブ数・会員数 (令和4年～令和5年)

(令和5年4月1日現在)

市町村	単位クラブ数			会員数		
	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減
宇治市	53	50	△3	2,215	2,038	△177
城陽市	66	66	0	3,437	3,318	△119
向日市	27	26	△1	1,024	974	△50
長岡京市	49	48	△1	2,454	2,363	△91
八幡市	54	54	0	3,787	3,615	△172
京田辺市	62	60	△2	3,060	2,971	△89
木津川市	87	85	△2	3,314	3,154	△160
大山崎町	5	3	△2	140	62	△78
久御山町	29	28	△1	1,778	1,712	△66
井手町	13	11	△2	1,249	1,050	△199
宇治田原町	23	23	0	1,179	1,132	△47
笠置町	9	7	△2	523	480	△43
和束町	14	14	0	881	845	△36
精華町	27	26	△1	1,835	1,733	△102
南山城村	9	9	0	603	516	△87
山城ブロック計	527	510	△17	27,479	25,963	△1,516
福知山市	108	106	△2	4,189	3,955	△234
綾部市	47	41	△6	2,183	1,733	△450
亀岡市	38	34	△4	1,728	1,442	△286
南丹市	60	57	△3	2,001	1,753	△248
京丹波町	22	22	0	591	544	△47
丹波ブロック計	275	260	△15	10,692	9,427	△1,265
舞鶴市	34	32	△2	1,453	1,298	△155
宮津市	24	24	0	911	933	22
京丹後市	72	72	0	1,469	1,419	△50
伊根町	6	6	0	77	78	1
与謝野町	27	24	△3	1,438	1,327	△111
丹後ブロック計	163	158	△5	5,348	5,055	△293
合計	965	928	△37	43,519	40,445	△3,074

コロナの感染症法上の扱いが「2類相当」から「5類」となり、ようやくコロナ前の社会生活に戻ってきています。昨年度は長引いたコロナの影響もあり、府老連始まって以来の大幅な会員数の減少となりましたが、今回の調査では、2つの市町老連で会員数が増えました。今回の175号で

た。これはひとえに役員・会員のみならず、まの努力の賜物と感謝します。府老連では、昨年9月に会員増強運動アンケートを実施し、その結果を、前号の府老連きょうと174号、及び会長事務局長会議（令和5年2月実施）で共有してきました。

は、8頁、9頁に記載のとおり、新たな会員増強策の一つとして、「成功事例」を分析・共有したいと考えます。



老人クラブ・会員数の推移

(各年4月1日現在)

年度	老人クラブ数(クラブ)	会員数(人)
平成9年	1,729	96,119
24年	1,364 △43	71,884 △3,148
25年	1,336 △28	69,974 △1,910
26年	1,271 △65	65,469 △4,505
27年	1,252 △19	63,996 △1,473
28年	1,221 △31	61,374 △2,622
29年	1,203 △18	59,144 △2,230
30年	1,150 △53	55,940 △3,204
31年	1,131 △19	54,221 △1,719
令和2年	1,083 △48	50,974 △3,247
3年	1,048 △35	48,037 △2,937
4年	965 △83	43,519 △4,518
5年	928 △37	40,445 △3,074

府老連 報告

府老連「女性委員会」・「若手委員会」総会を開催

ハートピア京都において、4月28日に女性委員会及び若手委員会の「総会」が開催されました。総会では4年度の事業報告及び5年度の事業計画が決定されました。

女性委員会 役員体制

- 委員長 井手口温美 (亀岡市)
- 副委員長 宇治タカ子 (城陽市)
- 渋谷スミ子 (京田辺市)
- 中川百合子 (木津川市)
- 小和田宏子 (舞鶴市)
- 常任委員 加藤 久子 (長岡京市)
- 末光 和子 (八幡市)
- 仲北浦きよ子 (南山城村)
- 笠浪 信江 (南丹市)
- 小森 明美 (京丹後市)



令和5年度 女性委員会事業計画

1. 事業方針
～男女共同参画のクラブづくり～
 - ①老連役員への積極的な参画
 - ②大会や研修会等への女性の参加を拡大
 - ③一般高齢者への参加呼びかけ
 - ④友愛活動、地域見守り活動の推進
 - ⑤高齢消費者被害防止活動の推進
 - ⑥いきいきクラブ体操の普及
2. 常任委員会 随時 (年3回)
3. ブロック別女性リーダー研修会の開催
 - 山城ブロック
 - ・日 時 9月1日(金)
 - ・会 場 京田辺市立中央公民館
 - 丹波ブロック
 - ・日 時 9月28日(木)
 - ・内 容 バスによる研修視察(丹後方面)
 - 丹後ブロック
 - ・日 時 9月14日(木)
 - ・内 容 バスによる研修視察(三田方面)
4. 老人クラブ会員増強運動の推進

令和5年度 若手委員会事業計画

1. 事業方針
～魅力ある老人クラブづくりと組織の強化～
 - ①老連役員への積極的な参画
 - ②各市町村老連「若手部」の組織化
 - ③若手会員の大会や研修会等への参加を拡大
 - ④若手高齢者の加入促進
 - ⑤友愛活動、地域見守り活動の推進
 - ⑥「ニュースポーツ」の普及・促進
 - ⑦高齢者の体力測定の普及・促進
2. 常任委員会 随時 (年3回)
3. 若手リーダー研修会
 - ・日 時 11月21日(火)
 - ・内 容 公式ワナゲ京都府大会
 - ・会 場 八幡市民体育館
4. 老人クラブ会員増強運動の推進



若手委員会 役員体制

- 委員長 齊藤 正剛 (宮津市)
- 副委員長 岩永 英光 (長岡京市)
- 西林千代美 (八幡市)
- 田中 健 (木津川市)
- 廣瀬 泰千 (綾部市)
- 常任委員 岡 孝昭 (久御山町)
- 藤井 重博 (京田辺市)
- 相浦清市郎 (南山城村)
- 伊豆田藤吉郎 (亀岡市)
- 井上 正則 (与謝野町)



府老連報告

新たな「府老連会員増強運動」に向けて

～ これまでの成果と教訓を今後につなげましょう！ ～

長引くコロナ禍の影響を受け、この3年間クラブの解散や老連からの脱会など、厳しい状況が続いてきました。こうした中、府老連では昨年9月に「アンケート調査」を実施し、会員増強の実状を把握するとともに、会員減少の要因や今後の課題を探ってきたところです。

今回はその中から、創意工夫をされた「取組」を紹介し、その「成功事例」を府老連全体で共有し今後につなげたいと考えます。（報告 中川剛）

1 市町村老連の「事務局体制」の充実

取組事例	市町村	取り組みの概要
①「活動推進員」の設置	舞鶴市 伊根町	○老連事務局に「活動推進員」を設置 ・専任の事務局職員がない舞鶴市老連では、脱会が相次ぐなど会員数が激減。（直近9カ年で66%の減） ・事務局体制の脆弱性がその主たる原因であることから、市に要望して「国庫補助制度」を活用し、令和3年度から1名の専任職員を設置。 ・既に設置済の伊根町とともに、両市町では事務局体制が確立して、会員の増加も期待されています。
②「老連事務所」の開設	亀岡市	○老連独自の「事務所」を開設 ・市老連専用の事務所がなく、社会福祉協議会のロビーで会議を行っていたが、市への要望活動が実を結び、市の福祉会館の一室を借りることができた。
【今後の取り組み】		
▶舞鶴市老連及び亀岡市老連とも、市に対して粘り強く要望し、老人クラブが老人福祉法に位置付けられている団体であることを双方再認識して要望が実現。 行政との定期的な懇談会をもつなど、日頃から地元市町村との連携・協力を進めることが重要。		

2 「クラブの解散」が、拡大・連鎖しないために

③「休会扱い」で解散を防止	多数の市町村	○活動の再開をめざし、一旦「休会扱い」に ・会員数の減少等により、2018年より「準クラブ」として連合会の行事のみの参加とし、さらに理事等の役員を免除するなど、クラブの負担を軽減して解散を回避（宇治市） ・会長のなり手がいないため解散状態となったが、会長がみつければ復活してもらうことで「休会扱い」とし解散を防止した。（木津川市ほか）
【今後の取り組み】		
▶クラブが解散して消滅してしまうと、その再建は極めて難しいのが実状。 一旦「休会扱い」として組織を温存し、その後、老連が行事の案内や機関紙を送付するなど、休会クラブとのつながりを維持して、再入会に向けた「働きかけ」を行うことが重要。		

府老連報告

3 「会長のなり手がいない場合」に対処した事例

取組事例	市町村	取り組みの概要
④ 「自治会長」がクラブの会長に	福知山市 ほか	・会長のなり手がいない場合、自治会や町内会と協議し、暫定的に自治会長が単位クラブの会長を兼ねるなど、会長になってもらった。 (福知山市、長岡京市、宮津市ほか)
⑤ 「副会長」が会長を代行してクラブを存続	宇治市 ほか	・会長の退任・病気・急死等に伴い、解散寸前となったが、副会長が「会長代行」になることでクラブを存続した。 (宇治市、舞鶴市、京丹後市ほか)
【今後の取り組み】		
▶クラブ解散の原因は、「会員の減少」と「会長のなり手がいない」ことが最大の要因。 こうした場合に、解散を見過ごすのではなく、老連役員が現地に出向いて直接事情を聞き取り・会長の擁立を働きかけるなど、解散を防止するための素早い対応が重要。		

4 単位クラブが「復活・再入会」した事例

⑥老連や自治会の「働きかけ」で再入会	多数の市町村	・退会したクラブに対し、老連が機関紙やチラシの配布を続けるなか、老連役員が出向いて協議し、地域の人脈も活用して老連への再入会が実現。 (福知山市、南丹市、伊根町) ・解散したクラブが自治会や町内会等の働きかけにより、会長を擁立するなどクラブが復活。 (宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、久御山町、京丹後市ほか)
【今後の取り組み】		
▶解散を回避し、少人数のグループでもできる範囲で活動続ける場合は、クラブの「復活・再入会」につながるケースが多い。 「退会」しても、グループの活動を老連や自治会が地域ぐるみで応援することが大切。		

5 「個人会員制度」で新たな加入ルートを確認

⑦「個人会員」の活動の場づくり	10 市町	・未組織の地域や解散したクラブの「受け皿」として「個人会員制度」を運用。老連の行事や事業を郵送等で案内し、個人会員は趣味のクラブ・サークルにも参加。(久御山町、長岡京市等 計 10 市町) ・単位クラブだけでなく、市内全般で幅広く交流・活動したい人に活動の場を提供し、併せて老連本部のスタッフとしても活動する「サポーター制度」を立ち上げ。(福知山市の自由クラブ)
【今後の取り組み】		
▶約半数の老連で「個人会員制度」が運用され、未組織地域や解散クラブ等の「受け皿」となっている。 その発展形である福知山市の「自由クラブ」は、会員拡大はもとより、市老連のサポーター、将来のリーダー候補の発掘・育成にも役立つなど、全国的に注目されている。		

府老連報告

令和5年度 近畿ブロック

老人クラブリーダー研修会

近畿ブロックリーダー研修会が、6月29日、兵庫県民会館で開催されました。

近畿地区から185名、府老連からは20名（男性11名、女性9名）が参加しました。

近畿の府県市の女性・若手リーダーが一堂に会し、それぞれで取り組まれている活動事例が発表、意見交換されました。

■午前の部

開会式に引き続き、全老連笹尾常務理事から、老人クラブの現状と課題について「基調報告」がありました。

続いて、人材養成コーディネーターの浅見真一氏から「人とかかわる、人と出会う」と題して講演がありました。

まず、「アイスブレイキング」で、5つの質問の回答を隣の人と話すことで、全員が「ちゃんと人と関わった」との感覚を持った後、個人やグループ・地域にとつて「人とかかわりの意味」について、老人クラブのこれからを考えるうえで押さえておきたいことがわかりやすく説明されました。

■午後の部

午後は4つの分科会に分かれて討議がありました。

第3分科会「地域団体等の交流で顕著な成果を挙げている事例」では、やすらぎクラブ長岡京の中田正紀会長が「地域団体との連携

中田さんの事例発表



で組織を活性化」と題して事例発表を行いました。

いずれの分科会も活発な意見交換がなされ、近畿各府県市間の交流も深めました。

閉会式では、中村兵庫県老連会長のあいさつの後、「次期開催地」として、当番老連の橋本京都府老連会長が、「来年は京都でお会いしましょう」とあいさつされ、研修会は成功裏に終了しました。

橋本会長 次回開催地あいさつ



令和6年度は 京都府で開催！

来年度は京都府老連が当番老連となって、次のとおり開催します。

【開催概要】

- 日時 令和6年6月27日（木）
- 会場 京都府民総合交流プラザ「京都テルサ」
- 参加者 約200名

【準備スケジュール】

- ・7月 兵庫県老連からの引き継ぎ
- ・8月 研修会の概要通知（各府県）
- ・12月 「開催要綱」の策定
 - ・講演、分科会、参加規模等
- ・2月 近老協定例会で説明
- ・3月 関係機関等への依頼
 - ↳ 近畿府県等に「開催案内」



市町村老連だより

宮津市老連

会長 橋本 俊次
 人 口 16554 人
 クラブ数 24
 会員数 933 人
 65 歳以上加入率 13%

■会員数の増加

令和 4 年度、宮津市老連では 14 年ぶりに会員数が増加しました。

『波路町喜楽会』 休会にな

っていました。休会になつていましたが、昨年度、会員の皆さんが声をあげてくださり、再入会に至りました。



小学生との GG 大会

『吉津長寿会』 吉津地区には 5 つの自治会がありますが、休会や解散などで「須津長寿会」1 クラブだけとなっています。

ました。今回、自治会の垣根を越えて募集範囲を広げ、名前を「吉津長寿会」と変えて 2 つのクラブをつくり、37 名の会員増となりました。

■世代間交流

吉津長寿会では、小学校に呼びかけグラウンドゴルフを一緒にはじめました。大会を開催したり、高学年には GG クラブができるなど、取り組みが広がっています。

また、小学校での花いっぱい植樹会は 19 年目となり、毎年新入生歓迎のフラワーカードとなっています。

■新しい事業を模索して 普段通りの生活ができるようになったら、「おいしいものが食べに行きたい」「みんなで集まって喋りたい」

宮津市のバスが借りられなくても、「みんなで出かけた」その気持ちから、公共バスに乗り、普段、なかなか自分たちでは行かない「伊根浦嶋神社」へ歴史を学びに行きました。「浦島太郎伝説」のお話を宮司さんにお聞きするなど、楽しいひとときを過ごしました。

会員数の減少は、全国の老人クラブの課題の一つです



「浦嶋神社にて」

が、会員の輪が広がるよう、役員一同、気持ちも新たに取組んでいこうと思えます。(事務局 枝)

宇治市連合喜老会

会長 武藤 守
 人 口 181616 人
 クラブ数 50
 会員数 2038 人
 65 歳以上加入率 3.7%

■組織体制と活動

喜老会には三役会、運営会議(運営委員 28 名)、理事会(各クラブ代表 50 名)があり、それぞれ月 1 回開催しています。

事業委員会(旅行・広報・



ピンポウリング(三種目スポーツ大会)

会員増強・演芸・グラウンドゴルフ・社会奉仕・友愛活動・俳句(など)は 15 あり、それぞれの委員長のもと、喜老会の事業を行っています。各事業委員会については、適時開催しています。

市老連広報誌は年 2 回発行

しています。また、研修は、全会員対象の会員研修、シルバリーダー研修会、管外研修、女性部研修会を実施しています。

■三大活動(健康・友愛・奉仕)

『健康』 スポーツ・文化活動として、グラウンドゴルフ大会、三種目スポーツ大会(フナゲ・ピンポウリング・スカットボール)、俳句大会、囲碁将棋大会、演芸大会、日

帰り旅行等を実施。大勢の間が参加して交流を深めてい

ます。新規スポーツについては、昨年度 2 月にポッチャ講習会を実施しました。今年度はポッチャのさらなる普及と大会の実施を検討しています。

■友愛活動

平成 8 年度に京都府の「モデル老連」の指定を受けて以来、一人暮らしの方の見守り、話し相手などを現在も継続して行っています。約半数のクラブで取り組みを実施しています。

『奉仕活動』 6 月・10 月・3 月の年 3 回、清掃活動をし



塔の島での清掃活動(クリーン宇治運動)

ています。市内各団体による「クリーン宇治運動」に参加する形で、塔の島周辺の清掃を行っています。(会計 山本)

いきいき活動を
支える

老人クラブ会員向けに 傷害保険・賠償責任保険で安心補償

- ◆この保険の対象は、全国老人クラブ連合会に連なる都道府県・指定都市老連および市区町村老連に加入している単位老人クラブです。
 - ◆全国老人クラブ連合会が契約者となり、各单位老人クラブで取りまとめて申し込む団体保険です。個人での加入手続きはできません。
 - ◆新規加入をご希望、ご検討の際は、クラブで担当者を決めて全老連「保険係」まで資料をご請求ください。
- 【資料請求受付期間】**【傷害保険】4月始期**→1/4から2月末頃まで、**10月始期**→7/1から8月末頃まで
【賠償責任保険】随時受付中

老人クラブ 傷害保険 自分がケガをした時の保険です。(病気は対象外)

- ①**対象**：老人クラブ会員に限ります。1人1口加入で年齢制限はありません。
- ②**保険始期月および保険期間**：年に2回の募集となります。

保険始期月	手続き期間(締切日厳守)	保険期間
2023年10月	2023年7月15日～9月15日まで	2023年10月1日午後4時から1年間
2024年 4月	2024年1月15日～3月15日まで	2024年 4月1日午後4時から1年間

- ③**補償範囲・掛金タイプ**：◆24時間型…日常生活全般のケガを補償。
 自転車事故を含む個人賠償責任補償や地震・噴火・津波補償、熱中症危険補償が付いたタイプもあります。
 ◆活動型…老人クラブ活動中のケガを補償

老人クラブ賠償責任保険 他人の物を壊したり、ケガをさせた時^{*1}の保険。(自分のケガは対象になりません。)

^{*1} 法律上の賠償責任が伴う老人クラブ活動中の対人・対物事故が対象です。往復途上は対象外。

- ①**対象**：単位老人クラブ(全員加入が条件となります)
- ②**保険期間**：毎年10月から1年間(中途加入可)
- ③**掛金**：1人年額100円(最低引受保険料3,000円)
- ④**補償**：支払限度額1億円



公益財団法人 全国老人クラブ連合会 保険係

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル5階

受付時間 9:30から12:00まで(土、日、祝祭日、年末年始休)

加入申込書等、資料請求先

専用FAX 03-3597-8767

お問い合わせ先

03-3597-8770

ホームページ <http://www.senior-ltd.com/> メールアドレス hoken@senior-ltd.com

(取扱代理店) 有限会社 シニアサービス社 TEL.03-3597-8768

(引受幹事保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 医療・福祉法人部 TEL.03-3515-4143

※この広告は、以下の商品についてご紹介したものです。
 【老人クラブ傷害保険】
 老人クラブ団体傷害保険特約付帯傷害保険・総合生活保険(傷害補償)
 【老人クラブ賠償責任保険】
 施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険
 ご加入にあたっては、必ず「パンフレット」「概要」「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は、ご契約者である団体の代表者にお渡ししてあります保険約款によりますが、ご不明な点は、代理店までお問い合わせください。
 2023年3月作成 22TC-102744

創造 と 連帯 シンボル 輝く会員章をあなたの胸に!

会員章にはピン止め式とタック式の2種類があります

お申込みは、所属の市町村老連、または府老連まで

1000円



京都府老人クラブ連合会(きらりクラブ京都)

きょうと



No.175 (令和5年8月発行)

発行人 橋本 俊次

発行 (一財) 京都府老人クラブ連合会

(愛称：きらりクラブ京都)

〒604-0874

京都府中京区竹屋町通烏丸東入ル清水町 375

京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)8階

TEL (075) 256-7955 FAX (075) 256-7956

E-mail : mail@k-furouren.or.jp

URL : <http://www.k-furouren.or.jp>

編集協力 (株) 博報社

大阪市平野区喜連西 4-6-69

TEL (06) 6797-0212 FAX (06) 6797-0481

編集後記

長期化していたコロナ禍や会員の高齢化もあり、会員数の減少にはなかなか歯止めがかからない現状がありますが、会員の方には、老人クラブの意義や有効性への理解を含め、健康づくり・介護予防活動や友愛活動など具体的な活動を通して、長く健康で自分らしい生活を送っていただきたいと思っています。

そのために、府老連事務局として、各市町村老連の役員の皆さま、事務局の皆さまと一緒にいろいろ知恵をだしあつて、老人クラブ活動の活性化を推進していきたいと考えておりますので、今後ともよろしく願っています。

(事務局)